

新入学児童への〈七十七〉交通安全下敷の贈呈について

七十七交通安全協会（会長理事 小林 英文）では、今年も宮城県内の新入学児童の皆さまへ下記のとおり「交通安全下敷」を贈呈させていただきますので、お知らせいたします。

下敷の贈呈は、当会発足直後の1969年から毎年実施（54回目）しており、これまで贈呈した児童は、153万名にのぼります。

宮城県内における2021年の交通事故は、発生件数4,286件、死者42名、負傷者5,182名と依然として多数発生しております。このような状況下、当会では、児童の安全を祈願し、交通安全意識高揚の一助となるよう下敷の贈呈を行うものです。

なお、下敷は、森林の持続可能な管理に配慮した用紙を使用して作成しています。

記

1. 贈呈日：入学式当日（仙台市内は2022年4月8日）
2. 贈呈先：宮城県内の全小学校
3. 贈呈方法：○七十七銀行の本支店を通じ、事前に各小学校へ下敷を直接お届けいたします。
○入学式当日、各小学校から新入学児童全員へ贈呈させていただきます。
4. 贈呈枚数：約20,200枚

（関連するSDGs）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～ もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上

